

高齢者・障がい者施設へのアンケート・専門職派遣の報告

～新型コロナ感染者の発生とクラスター化をさせないために～

【経緯】

昨年12月から高齢者・障がい者施設の感染予防対策のため、施設へのアンケート調査による実態把握。希望施設へは専門職員の派遣を行い施設の環境確認と感染対策への助言を行ってきました。この度、希望施設への専門職の派遣が終了したので、その結果を報告します。

【結果】

① 感染予防対策実施状況調査（チェックリスト）と専門職派遣希望調査の提出

令和2年12月より180事業所に対し調査を行い、125事業所から回答がありました。

質 問	ある	ない
感染予防対策で不安や疑問はあるか	103 事業所	22 事業所
国や県の感染予防マニュアルや通知で分かりにくい点はあるか	23 事業所	102 事業所
感染者が発生した場合の具体的な検討はしているか（ゾーニング等）	106 事業所	19 事業所
専門職による施設内の指導や助言を希望するか	66 事業所	59 事業所

・チェックリストより

9割以上の施設が基本的感染予防対策を講じている。

3割弱の施設で、国や県の通知による感染症のマニュアル更新がされていない。

② 希望施設への専門職の派遣

・対象180事業所の36.7%にあたる66事業所を訪問。

・基本的感染対策の徹底、国や県の通知の解説、ゾーニングの方法等を助言。

・施設職員の声

国や県からの通知だけで不安だったが、状況を実際に見てもらえてよかった。

十分だと思っていた感染対策が十分でないところがあった。

ゾーニング方法など個別具体の助言は参考になった。

・専門職員のコメント

施設側の感染予防対策に対する意識付けや再確認のよい機会となった。

施設環境に応じ、直接指導・助言できたことで、施設側の不安を払拭できた。